

授業改善推進プラン

【教科名：特別の教科 道徳】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> どんな形式の授業でも臨機応変に対応し、前向きに真面目に取り組んでいる。 PC 端末を使うことで、全員が意見を出せている。 	<ul style="list-style-type: none"> 何を聞かれ、何を考えるのかを理解できる読解力や状況把握力の育成。 人の意見や雰囲気になら流されない「個」の確立。 	<ul style="list-style-type: none"> 善悪や、ものごとの見え方感じ方が、立場や状況によって違うことがあるなど、多面的にとらえられる視点を学び合いを通して育む。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え、自分の意見をもととしてしている。 話し合い活動では、自分の意見は発表するが、あまり活発ではない。 自己中心的な発言が多く、協調性が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> 肯定的に相手の意見を捉え、そこから新しい考えや気づきを得るような経験の積み重ねが必要。 協調性をもった生活態度を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> I C T機器の活用や、各教科での話し合い活動を充実させ、他者の気持ちを推し量り、話し合いが生産的な活動となるよう支援する。 マイナス発言をなくすため、学級委員を中心にクラスで目標などを提示する。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 主体的に考え、自分の意見を述べるができる。 他人の意見を聴き、自分の考えと他者の考えの違いから考えを深めることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 自分と他人の考えが異なることは理解しているが、些細な違いで傷ついたり、悩んだり、苛立ったりと行動に表れてしまう。 「自分だったらどう考えるか」ではなく、模範解答を求めてしまう。 	<ul style="list-style-type: none"> 道徳の授業や日常生活の中で、他者の立場によって様々な見方・考え方ができることへの気づきを与えていく。 誰もが弱さをもつことの気づきを与えていく。認めることで、自分の内面について深く考えさせていく。

【教科名：特別活動】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> どんなことにも前向きに全力で取り組もうとする生徒が多い。 みんなで協力して頑張ろうとする生徒が多いが流されやすい一面もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 悪い意味で流される事が無くなるように、自分の責任において善悪を判断し行動できる「個」を育成していく。 	<ul style="list-style-type: none"> 行事や学期の区切りごとに、話し合いや振り返りを通して、中学生としてどうあるべきかを考え意識させる機会を設けていく。
2年	<ul style="list-style-type: none"> 運動会や文化祭の準備など協力する姿勢が見られる。 新しいことに挑戦することに消極的である。 	<ul style="list-style-type: none"> 各々のリーダーシップを発揮し、クラスに貢献しようという更なる意識付け。 困難なことでも挑戦してみる姿勢を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> 文化祭の準備で、リーダーシップの育成を図る。 後期委員会には未経験のものを体験させ、チャレンジ精神を養う。
3年	<ul style="list-style-type: none"> 様々な行事に対し、最上級生として皆で協力し、一生懸命に取り組んでいる。 中高運動会や文化祭に向け、リーダーを中心に頑張 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数のため仕事量が多く、負担が大きい。そのため、精神的に疲弊している様子もある。 	<ul style="list-style-type: none"> 全体の見通しをもって行事に取り組ませていく。その中で、仕事内容の精選をして負担がかかりすぎないように留意していく。

	ろうとしている。		・生徒の様子を見ながら声掛け、指導をしていく。
--	----------	--	-------------------------

【教科名：総合的な学習の時間】

	現状分析	課題	具体的な方策
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・どんなことにも前向きに全力で取り組んでいる。 ・みんなで協力して頑張ろうという意識が高い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・漠然とただ頑張るのではなく、具体的に何をどう頑張ればいいのかを考え判断し、行動に移せる姿勢を培っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・事前、事後学習を通して、目標(挑戦)→努力(計画性)→反省(分析力)→改善(創造性)というサイクルで成長につなげていく。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・職場体験の実施と、発表に向けたスライドづくりを意欲的に行った。 ・移動教室の事前学習や準備をグループで協力して行った。 ・生徒主体で文化祭の練習・計画を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験の発表に向けて、発信する力の育成や、自分自身の将来の職業選択に向けた情報の整理。 ・自分の意見を伝えたり、友達の意見を聴いたりする力の育成。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職業体験に向けた発表練習を行い、プレゼンの方法や伝え方について指導する。 ・移動教室において、自分の力で挑戦し、困難にぶつかったときに対応することで、適応力を身に付けさせる。
3年	<ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行では「観光地としての工夫を探すこと」をテーマに奈良・京都を訪れ、様々な工夫を発見することができた。今後は総合発表会に向けて準備をしていく。 ・進路選択に向けて学習に取り組もうとする意欲がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進路選択に向けて漠然とした不安がある。しかし自分の学力や島外の受験生の様子などを把握できていないため、自分の目標と学習の取り組みにズレが生じている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学力調査などのデータを基に、自分の目標と現状の学力との差を具体的にイメージできるように指導していく。 ・放課後に自習できるよう、教室を開放していく。 ・すららネットを活用し、苦手分野を中心に自主学習できるようにしていく。